

 WinActor[®]
Ver.7.6.0 リリースノート

NTTアドバンステクノロジー株式会社

WinActor Ver.6 シリーズをリメイクした全く新しいWinActorです。Ver.7シリーズでは、最大の特徴である「現場フレンドリー」の思想を一層進化・深化させ、初心者はもちろん上級プログラマにとっても対応可能な、誰もが使いやすいRPAを追求します。

Ver.7.6.0には以下の特徴があります。

- 生成AI連携
 - 対話によるシナリオ作成
 - 画像認識AIとの連携
 - 帳票操作簡単化
- 記録モードの拡充(画像マッチングモード)
- シナリオ差分表示
- シナリオフォーマットチェック
- WinActorライブラリのPython化とライブラリ最新化機能
- 繰り返し機能の拡充
- シナリオ作成時のガイド改善
- 問合せ用情報収集時のログ改善
- Box認証方式拡充
- WMC連携機能拡充

1 新機能

Ver.7.6.0で追加される機能について説明します。

新機能の表記について

このリリースノートではライセンス、機能毎の違いを説明するために、次の表記を用います。



この表記がある場合、NL版でご利用できます。



この表記がある場合、FL版でご利用できます。



この表記がある場合、フル機能版でご利用できます。



この表記がある場合、実行版でご利用できます。



この表記がある場合、管理実行版でご利用できます。

【生成AI連携】対話によるシナリオ作成

初心者でも、より簡単にシナリオを作成できるようになりました。
WinActorとの対話によりシナリオの大まかな修正も可能です。
対話により作成されたシナリオは、今までと同様に編集、実行できます。



① [ファイル]-[新規作成]から [新規作成(生成AI利用)] を選択します。

② チャット画面から作成したいシナリオの内容を対話形式で入力します。

③ 送信ボタンを押すと生成AIと連携してシナリオのひな形が作成されます。

④ 一度作成されたシナリオを対話で修正することができます。

生成AIにより自動設定された変数等がヒントとして表示されます。

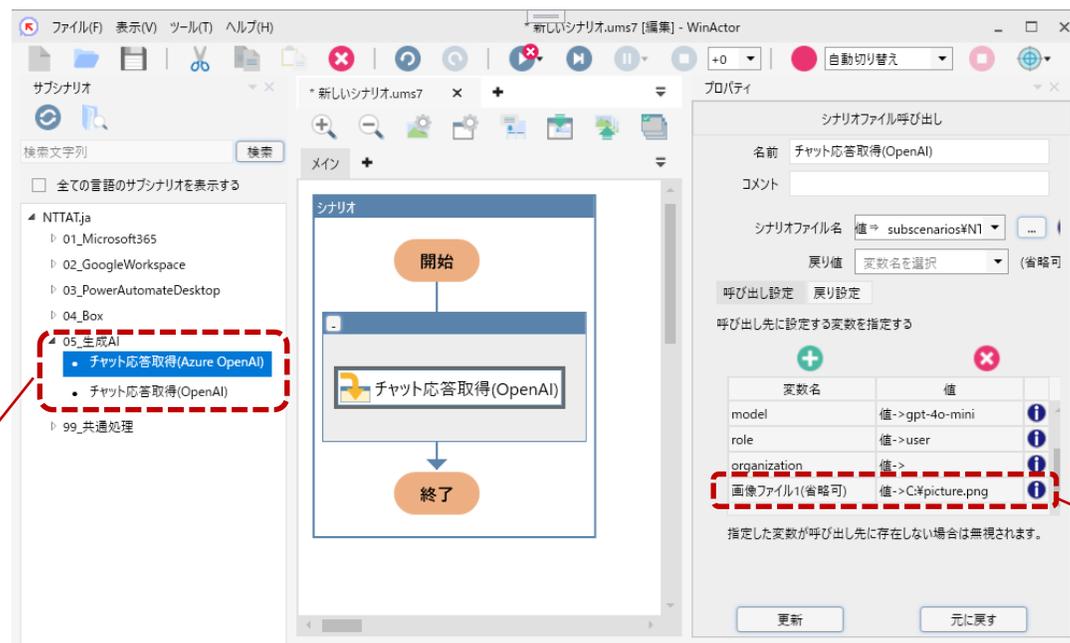
※本機能利用には後述の「生成AI連携の事前設定」が必要です。

【生成AI連携】画像認識AIとの連携

生成AIを利用して画像を分析するシナリオを簡単に作成できるようになりました。



① サブシナリオの「05_生成AI」から
• チャット応答取得(Azure OpenAI)
• チャット応答取得(OpenAI)
を選択します。



② 生成AIに送信する画像ファイル
を設定します。

利用例:
入力テキスト : 画像に書かれている文字を教えてください
入力画像 : C:\picture.png
出力テキスト : 画像に含まれている文字は以下の通りです: xxx

※本機能利用には画像の入力に対応した生成AIモデルを選択する必要があります。

【生成AI連携】帳票操作簡単化(1/2)

生成AIを利用して帳票を操作するシナリオを簡単に作成できるようになりました。



① [変数一覧画面] の雛形・データ抽出(生成AI利用)のアイコンをクリックします。

② 帳票(Excel/csvファイル)を選択します。

③ 選択された帳票を生成AIへ送り、分析します。

④ 取り込む帳票を選択後、変数名を入力して、「OK」ボタンをクリックします。

⑤ 選択した帳票の情報が変数の初期値に設定されます。また、選択した変数名や表のデータ名が変数としてインポートされます。

※本機能利用には後述の「生成AI連携の事前設定」が必要です。

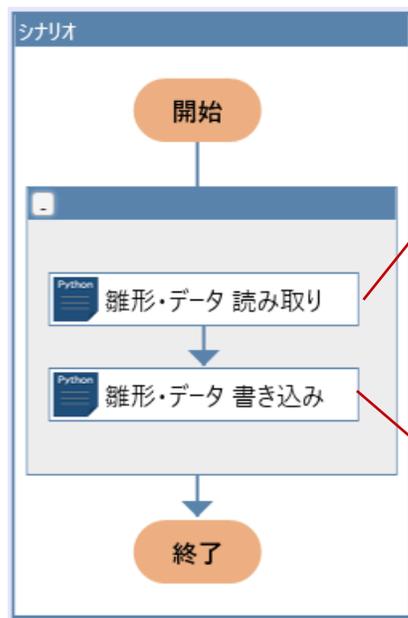
【生成AI連携】帳票操作簡単化(2/2)

生成AIが分析した情報を利用して帳票を操作するライブラリが提供されました。これにより、シナリオでの帳票の操作が簡単になりました。また、これらのライブラリを利用することで、帳票操作が高速化されることがあります。



新しいライブラリ一覧

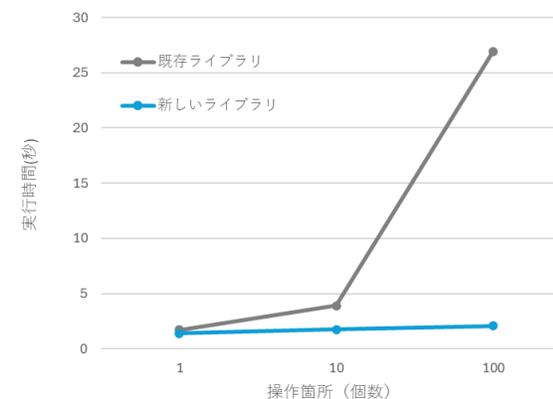
- 雛形・データ 表形式指定 ソート
- 雛形・データ 表形式指定 フィルタリング
- 雛形・データ 表形式指定 値の取得
- 雛形・データ 表形式指定 値の設定
- 雛形・データ 表形式指定 結合
- 雛形・データ 表形式指定 行または列の削除
- 雛形・データ 表形式指定 行または列の挿入
- 雛形・データ 表形式指定 重複データ削除



「雛形・データ 読み取り」ライブラリ
雛形・データが持つ読み書き箇所の座標情報を基に、Excelファイルからデータを読み取ります。

「雛形・データ 書き込み」ライブラリ
雛形・データが持つ読み書き箇所の座標情報を基に、Excelファイルへデータを書き込みます。

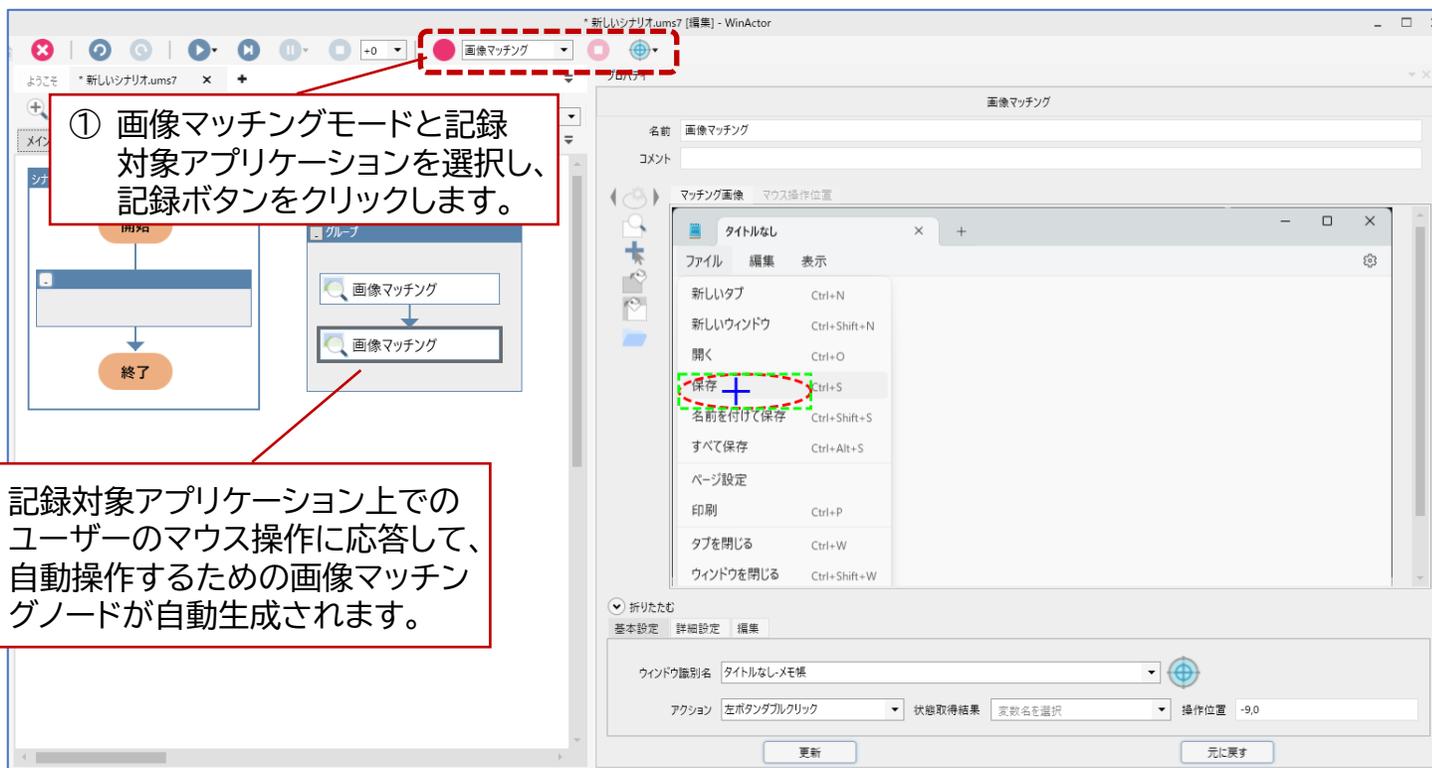
高速化した新しいライブラリ ライブラリ実行時間の比較



※新しいライブラリ一覧に記載されているライブラリの実行時には生成AIを利用しません。

記録モードの拡充(画像マッチングモード)

画像マッチングノードを簡単に利用できるようになりました。
ユーザの操作にตอบสนองして、画像マッチングノードを専用に生成する記録モードとして画像マッチングモードを提供します。



※ 詳細は同梱の操作マニュアル(WinActor_Operation_Manual)「1.7.10 画像マッチングモードとは」をご参照ください。

シナリオ差分表示

シナリオの維持管理を容易にします。シナリオの差分を表示することにより、修正箇所の確認等が簡単にできるようになりました。



① シナリオ差分表示ボタンから、比較するシナリオを選択します。

グループ名	変数名	現在値	初期化しない	初期値	マスク	コメン
グループなし	最終行		<input checked="" type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	
	繰り返し回数		<input type="checkbox"/>	0	<input type="checkbox"/>	
	注文日		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	

【凡例】

変更された要素

追加された要素

子要素に変更・追加された要素

② シナリオ編集エリア、プロパティエリア、機能編集エリアにおける追加や変更箇所を視覚的に確認できます。

シナリオフォーマットチェック

シナリオ作成後のチェック作業を効率的に行うことができるようになりました。
シナリオ中の不要な設定や環境依存箇所などをチェックして表示する
シナリオフォーマットチェック機能を提供します。



① シナリオフォーマット
チェックタブを選択します。

② チェックを行いたい
項目を選択します。

③ クリックするとシナリオ
フォーマットチェックの
結果が表示されます。

④ チェックに該当した内容
が表示されます。
クリックすると該当箇所
の画面を表示します。

シナリオフォーマットチェック結果表示

- 残存ブレイクポイントチェック
 - ブレイクポイント設定が残っています。設定を削除することが望ましいです。: ノードID=227, ノード名="エラーメッセージ設定"
- 浮遊ノードチェック
- 絶対パス設定チェック (スクリプト実行ノード、Python実行ノード、およびそれらによるライブラリは本チェックの対象外です)
- 例外キャッチチェック
- 未使用変数または変数グループチェック
- 未初期化変数チェック
- ノードグループ化チェック
- ノードデフォルト名チェック
- デフォルトウィンドウ識別子名チェック
- 未使用ウィンドウ識別子チェック
- プロパティ値の即値指定チェック
- エミュレーション キーボード入力 待機時間なしチェック
- 画像マッチング マッチ率チェック
- 残存UIオートメーションダンブチェック
- 残存WinActor制御-デバッグ系ノードチェック
- 残存待機ボックスチェック

シナリオフォーマットのチェック設定

- 残存ブレイクポイント
- 浮遊ノード
- 絶対パス設定
- 例外キャッチ
- 未使用変数または変数グループ
- 未初期化変数
- ノードグループ化
- ノードデフォルト名
- デフォルトウィンドウ識別子名
- 未使用ウィンドウ識別子
- ウィンドウ識別子内容重複
- プロパティ値の即値指定
- エミュレーション キーボード入力 待機時間なし
- 画像マッチング マッチ率
- 残存UIオートメーションダンブ
- 残存WinActor制御-デバッグ系ノード
- 残存待機ボックス

変数一覧 データ一覧 メール管理 監視ルール一覧 イメージ ブレイクポイント一覧 サブルーチン 呼び出し履歴 実行時間 イベント一覧 シナリオフォーマットチェック

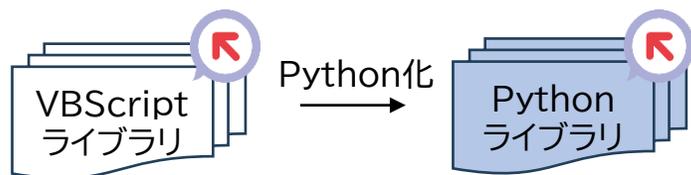
WinActorライブラリのPython化

VBScript非推奨化後もWinActorの豊富なライブラリを利用可能としました。
既存のVBScriptによる同梱ライブラリをPython化したライブラリが提供されます。
ライブラリ最新化機能によりシナリオファイルに含まれるVBScriptによる同梱ライブラリ
をPythonによる同梱ライブラリに最新化しました。

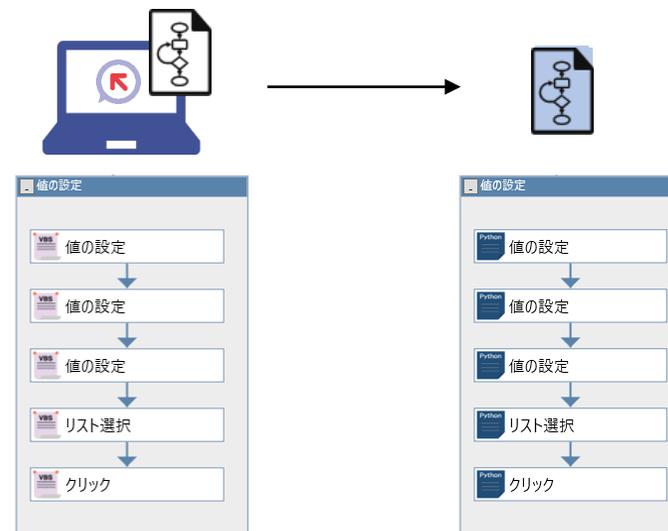


Ver.7.6.0では同梱ライブラリ(日本語版)のPython版を提供しました。
(暗号化復号ライブラリを除く※)

同梱ライブラリ(英語版)/プチ/スイートライブラリのPython版は
Ver.7.6.1以降で提供を予定しています。



WinActorメニューのツール(T)>ライブラリ最新化 により、
シナリオ内のVBScriptによる同梱ライブラリをPython化
された最新の同梱ライブラリへ自動変換可能です。

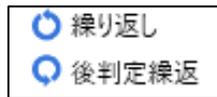


※ 暗号化復号ライブラリのPython版はVer.7.6.1以降で提供を予定しています。

繰り返し機能の拡充

データに対応した繰り返し処理を簡単に記載できるようにするため、「繰り返し」「後判定繰返」の機能を拡充しました。

取り込んだ帳票の情報に対応する繰り返しの処理、JSONのオブジェクトや配列に対応した繰り返しの処理を簡単に記載できるようになりました。



プロパティ

繰り返し

名前 繰り返しグループ

コメント

条件式 条件式設定
 回数 変数名もしくは値を選択
 範囲 変数名もしくは値を選択 から 変数名もしくは値を選択
 データ数 データファイル名 変数名もしくは値を選択
 データ数 (DB連携) データソース名 変数名もしくは値を選択
ユーザ名 変数名もしくは値を選択
パスワード 変数名もしくは値を選択
テーブル名 変数名もしくは値を選択

雛形・データ 雛形・データ 変数名を選択
 単票形式、帳票形式のデータを取得する。
 表形式のデータ数分繰り返す。
繰り返し対象の表形式名 変数名もしくは値を選択
 各繰り返し処理後の値で雛形・データを更新する。
更新後の雛形・データの格納先変数 変数名を選択

JSONオブジェクトまたはJSON配列 JSON
繰り返し対象の要素を示すJSONPath式 変数名もしくは値を選択 (省略可)
取得したキー名の格納先変数 変数名を選択 (省略可)
取得した値の格納先変数 変数名を選択

カウンタ 変数名を選択 (省略可)

雛形・データを繰り返し処理に使用することが可能です。
雛形・データ内のデータを取得、および更新できます。

JSONオブジェクトやJSON配列が持つキー名やそのキーが持つ値、または、値のみを繰り返し取得できます。

シナリオ作成時のガイド改善

ガイド利用によるシナリオ作成をより使いやすく改善しました。



操作の「元に戻す/やり直す」ができます。

部品の「切り取り/コピー/貼り付け/削除」ができます。

ガイド箇所の詳細説明をマニュアルのポップアップで確認できます。

配置した部品の詳細を設定してください。「シナリオを作成する」ボタンをクリックするとシナリオを作成します。

ボタンを押した後、データを取得するセルの位置を指定してください。セルは単一のセルを指定するか範囲を指定することができます。また、ヘッダーを含めて指定すると、情報の名前を同時に設定することができます。または、A1形式で直接入力するか変数名を選択もしくは入力してください。

エラー数が確認できます。クリックするとエラー箇所へ遷移します。

オプション画面からガイド表示のON/OFFなどが設定できます。

※現行のStoryboardの配布は停止し、初心者向け機能としてはガイド利用に集約しました。

問合せ用情報収集時のログ改善

ユーザ環境不具合発生時の調査負担を減らすため、問い合わせ用情報収集にて、WinActor自身が操作対象の画面キャプチャを取得して動画ログを生成する機能を提供しました。



オプション

管理サーバ プロキシサーバ サーバ接続状況 ログサーバ 実行 記録 編集
時刻 ログ スクリーンセーバー 更新 ブラウザ ガイド利用 その他

実行ログを常に出力する

ログ分割 []
分割間隔 []
ログファイル []

ログファイルエンコーディング UTF-8

動画ログを出力する
シナリオ実行中にWinActorが操作したアプリケーションの画面を記録します。
動画ログはシナリオ実行ごとに出力します。

画面記録の保存上限 150
記録時の画面縮小率 100%

① オプション画面で動画ログの出力を選択します。(初期値はオフ)

logs

名前	更新日時	種類	サイズ
01_WinActor_Information.txt	2025/01/15 13:14	TXT ファイル	1 KB
02_Environment_Information.txt	2025/01/15 13:14	TXT ファイル	1 KB
03_Execution_log.txt	2025/01/15 13:14	TXT ファイル	3 KB
04_Configuration.txt	2025/01/15 13:14	TXT ファイル	71 KB
05_Screenshot.png	2025/01/15 13:14	PNG ファイル	920 KB
06_WindowCapture.gif	2025/01/15 13:12	GIF ファイル	76 KB

6 個の項目

② シナリオを実行するとログディレクトリに動画ログが作成されます。

問い合わせ用情報収集

お客様からの問い合わせに対応するためにシナリオ情報や環境情報、実行ログ情報を収集します。収集対象に含めても問題ない場合、以下の各項目のチェックボックスにチェックを入れてください。項目右側のボタンをクリックすると対象ファイルを開けますので、必要に応じて内容を追加/削除してください。

全てチェック

シナリオファイル(選択済み)

WinActor情報

動作環境情報

実行ログ

設定情報

デスクトップのスクリーンショット

操作対象アプリケーションの動画ログ

出力設定

ZIPファイルを生成する

サーバにレポートを送信する

再収集

選択

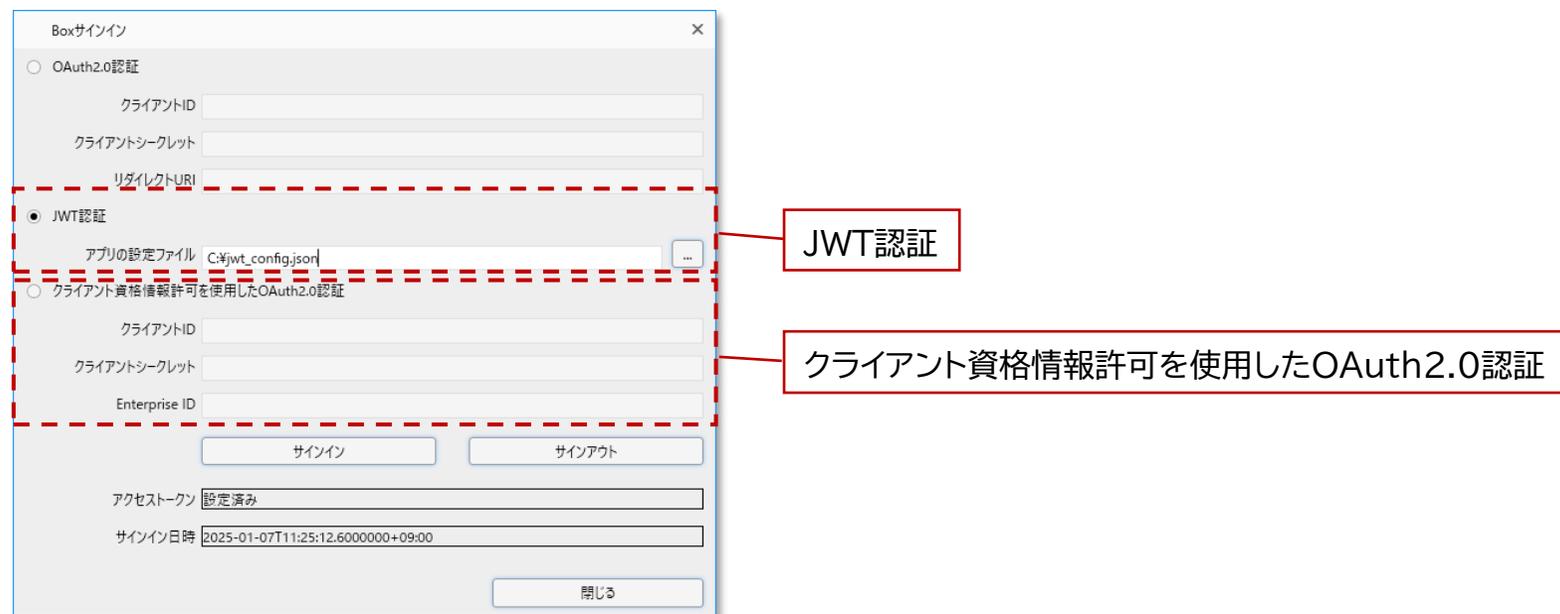
次へ キャンセル

③ 動画ログは問い合わせ用情報収集ファイルとして選択できます。(サーバへのレポート送信も可能です)

※ 本機能利用時、ユーザ環境のシナリオ操作対象アプリケーションのキャプチャ取得が発生します。

Box認証方式拡充

Box連携をより使いやすくするため、サインインの認証方式に「JWT認証」と「クライアント資格情報許可を使用したOAuth2.0認証」を追加しました。



※ 事前にBox側の設定が必要です。詳細は同梱の操作マニュアル(WinActor_Operation_Manual)「3.2.3 ツールメニュー ■ Box 連携画面」をご参照ください。

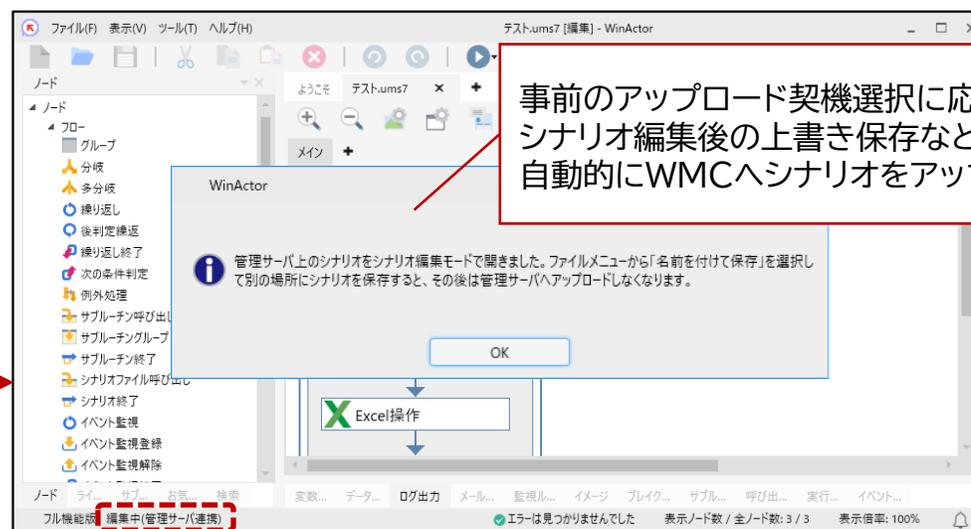
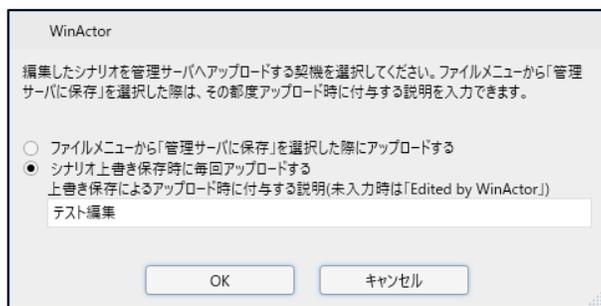
※ プロキシ環境下では、事前にオプション画面の「プロキシサーバ」タブより設定をお願いします。

WMC連携機能拡充(1/2)

WinActor Manager on Cloud(WMC)をより手軽に利用いただけるようにするため、WMCにアップロード済みのシナリオを編集する機能を追加しました。



WMC上のシナリオは、お手元のWinActorに自動的にダウンロードされ、編集終了後に自動的にアップロードされますが、ユーザがそれを意識する必要はありません。



※ 本機能利用にはWMC Ver.3.9以降との連携が必要です。

※ 本機能利用時、オプション画面で設定した管理サーバと通信します。プロキシ環境下では事前にオプション画面の「プロキシサーバ」タブより設定をお願いします。

※ 詳細は同梱の操作マニュアル(WinActor_Operation_Manual)「3.18 オンラインシナリオ管理画面 ■シナリオ編集」をご参照ください。

WMC連携機能拡充(2/2)

WMC運用中のトラブルを削減するために、シナリオ実行中にエラーが発生しないか WMCへのアップロード前に確認するテスト実行機能を追加しました。



テスト実行はローカルのWinActorで完結しますので、都度WMCへシナリオをアップロードする必要がなくなり、効率的な運用前試験が可能になりました。

① WinActorで編集集中のシナリオからテスト実行対象を選択します。

名前	型	値
待機時間	文字列	5000
Excelファイル	ファイル	D:\test.xlsx

② WMCでのシナリオ・スケジュール登録時と同様に各種パラメータを設定し、テスト実行できます。

③ テスト実行が完了すると、実行結果や実行時間、ログファイルなどを確認できます。

※ 詳細は同梱の操作マニュアル(WinActor_Operation_Manual)「3.18 オンラインシナリオ管理画面 ■テスト実行」をご参照ください。

2 改善に伴う注意事項

Ver.7.6.0で行った改善に伴う注意事項について説明します。

WinActorライブラリのPython化に伴う注意事項

VBScriptとPythonの仕様の違いより、以下の注意事項があります。

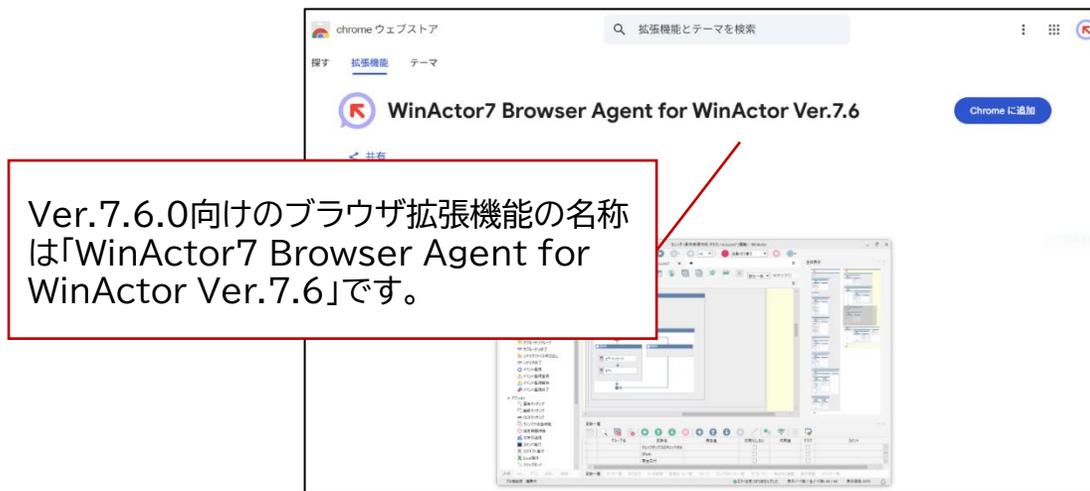
No.	注意事項	概要	WinActorライブラリ
1	数値の精度	Python化により数値の扱える桁数が多くなっています。VBScript上での計算結果と完全には一致しないことがあります。多くの場合シナリオの実行に影響はありません。	剰余演算 税込金額計算 通貨型四則演算 数値の書式変換
2	エラーメッセージ	VBScriptとPythonの処理系から出力されるエラーメッセージに差分が生じます。	全てのライブラリ
3	正規表現	VBScriptとPythonの正規表現に細かな差分があります。多くの場合影響はありませんが、詳細については以下をご参照ください。 https://docs.python.org/ja/3.12/library/re.html	正規表現(文字列存在確認) 正規表現(文字列置換) 正規表現(文字列抽出)
4	変数を他のスクリプト実行アクションと共有する	VBScriptとPythonの間にて変数を共有することはできません。変数の共有を利用する場合には、WinActorライブラリをVBScriptまたはPythonのいずれかに統一してください。	03_変数/02_辞書と配列/ 配下ライブラリ
5	Excelから取得される値	Excelの値をvalue指定でWinActorへ取得した際に、整数の値の末尾に「.0」が付与されます。多くの場合シナリオの実行に影響はありません。	Excel操作(値の取得) Excel操作(値の取得2) Excel操作(行の読み取り) Excel操作(列の読み取り) Excel操作(アクティブセルから指定位置の値取得)

ブラウザ拡張機能の利用に関する注意事項

■ ブラウザ拡張機能の再導入のお願い

Ver.7.6.0では新規にブラウザ拡張機能を用意しています。

そのため、Ver.7.5.1以前のバージョンでブラウザ拡張機能を導入していた環境においても、Ver.7.6.0でWebブラウザの自動記録や自動操作(ブラウザ拡張機能使用)の機能を利用する場合は改めてブラウザ拡張機能の導入をお願いいたします。



※ Ver.7.6.0より前のバージョンの WinActor を使用される方も、新しいブラウザ拡張機能を利用可能です。

※ブラウザ拡張機能の導入方法については、Edge/Chromeは「Chrome拡張機能インストールマニュアル」、Firefoxは「Firefox拡張機能インストールマニュアル」をそれぞれご参照ください。

3 改善・要望の一覧

Ver.7.6.0で行った改善・要望の一覧について説明します。

改善・要望の一覧

Ver.7.6.0にて行った改善の一覧(23件)は「WinActor_v760_改善の一覧.pdf」に記載しています。

Ver.7.6.0にて対応した要望の一覧(4件)は「WinActor_v760_要望の一覧.pdf」に記載しています。

また、上記一覧とは別に、WinActorで表示するメッセージ、および、マニュアルの内容がより読みやすく、分かりやすくなるよう、文言・表現を見直しました。

 WinActor[®] Ver.7.6.0 リリースノート

NTTアドバンステクノロジー株式会社

Copyright(c) 2025 NTT, Inc. & NTT ADVANCED TECHNOLOGY CORPORATION

本書は著作権法上の保護を受けています。本書の一部あるいは全部を無断で複写、複製することは禁じられています。
本書の内容は予告なく変更される場合があります。

64-L-0702

お客様と共に進化し続けるバリューパートナー

お客様に真摯に向き合い、時流を読みながら常に革新的なご提案を行い、新しい価値を生み出し続けるパートナーでありたい、それが私たちの目指す姿です。

